

知っていますか？

# かごしま地域学校協働活動！



《書写(毛筆)の指導》



《放課後における学習支援》



《伝統芸能発表》



《米作り体験》

## 「地域学校協働活動」とは

地域住民、学生、保護者、NPO、民間企業、団体・機関等の幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子供たちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、学校と地域が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動です。

次の時代を担う子供たちに対して、どのような資質を育むのかという目標を共有し、学校と地域が連携・協働し、様々な活動を展開することが大切です。



### 《子供たちにとって》

- ・より多くのより幅の広い方々との関わりの中で、社会性やコミュニケーション能力が育まれます。
- ・信頼できる地域の方々から、ほめてもらったり、認めてもらったりすることで自己肯定感や学習意欲が高まり、学力向上の基盤が形成されます。
- ・地域の方々と共に学ぶことで、地域への愛着が芽生え、地域の担い手としての自覚が芽生えます。

### 《地域学校協働活動の効果》

### 《学校や先生方にとって》

- ・地域の方々のもつ専門的な知識・技能や地域資源を教育活動に生かすことができます。
- ・多様な視点での取組ができるようになり、新たな工夫や発想で教育活動を展開することができます。
- ・地域の方々との関わりが深まり、地域と学校の相互理解が進むことで、学校の教育活動に対する理解者と支援者が増えます。

### 《地域にとって》

- ・自らの知識や技能、学びの効果を教育の場で生かすことで、地域の方々の生きがいや自己実現の機会となります。
- ・地域の方々の社会参加・参画の場となり、地域に緩やかなネットワークが構築され、地域の活性化や地域コミュニティの再生につながります。
- ・地域課題の解決につながる活動を通じて、地域づくりの担い手が育つとともに、地域の教育力が向上します。



鹿児島県教育委員会

【お問合せ】 県教育庁社会教育課生涯学習係  
TEL：099-286-5336  
Eメール：e-shougai@pref.kagoshima.lg.jp

# 学校と地域との連携・協働の意義

学校を取り巻く問題は複雑化・困難化し、今や学校だけでは対応が厳しい現状があり、社会総掛かりで対応することが求められています。そのために、学校と地域がパートナーとして連携・協働し、組織的・継続的な仕組みを整備していくことが必要不可欠となってきます。学習指導要領の「社会に開かれた教育課程」の実現を目指し、学校と地域が連携・協働することで、子供たちに未来の創り手となる必要な資質・能力を育むことができます。



【参考：学習指導要領前文から一部抜粋】

教育課程を通して、これからの時代に求められる教育を実現していくためには、よりよい学校教育を通してよりよい社会を創るという理念を学校と社会とが共有し、それぞれの学校において、必要な学習内容をどのように学び、どのような資質・能力を身に付けられるようにするのかを教育課程において明確にしながら、社会との連携及び協働によりその実現を図っていくという、社会に開かれた教育課程の実現が重要となる。



※ 地域学校協働活動に関するお問合せは、各市町村教育委員会生涯学習・社会教育担当課まで。

《文部科学省関係資料》



《鹿児島県教育委員会作成資料》



参考資料はこちらからどうぞ。

